

2025 年 10 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・
2026 年 4 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

講 座	法政理論
専門科目	民事訴訟法

以下の 3 問のうち 2 問を選択して 解答しなさい。

解答するときは、選んだ問題が分かるように、解答の最初に問題番号を記載しなさい。

【問題 1】

A は B に対して貸金返還請求訴訟を提起した。審理において A は、「A は B に対して 2024 年 4 月 10 日に 100 万円を貸し付け、当日 B の銀行口座に 100 万円を送金した」、「B は借りた 100 万円は 1 年後に弁済すると約束した」、「しかし B は約束の日を過ぎても当該金銭を弁済していない」と主張した。これに対して B は、「借りた 100 万円は 2025 年 3 月 31 日に弁済した」と反論した。A も B もこれ以上の主張はしていない。証拠調べにおいて、裁判所が、提出された AB 間の貸金契約書を読んだところ、契約書の片隅に「2025/3/31、100 万円受領、B の父 C より」とのメモ書きがあることに気がついた。このような場合に、裁判所は、当該貸金は B の父 C により弁済されたとして A の請求を棄却することができるか。

【問題 2】

訴えの利益とは何か。給付訴訟、確認訴訟、形成訴訟のそれぞれについて具体例を用いながら説明しなさい。

【問題 3】

民事訴訟と人事訴訟で異なる部分を挙げ、なぜそのような違いがあるのか説明しなさい。

以上